

神楽坂のギャラリー、eitoeiko より展覧会のお知らせです。

吉田有紀『芸術におけるL点の調査と研究』 2010年6月17日(木)～7月18日(日)

神楽坂のギャラリーeitoeikoより、展覧会のご案内をお知らせいたします。6月17日から7月18日にかけて、eitoeikoでは日本画家、吉田有紀による個展『芸術における*L点の調査と研究』を紹介いたします。吉田有紀は平面上に数個あるいは無数の球体、円形を描くことにより出現する、色と影の世界を表してきました。ほぼ15年にわたる制作の中、作家はデュシャンの語る「鑑賞者との共同作業」を行い、「なにものはわからないが何かが見える」光景を創造しています。吉田の平面作品は抽象画にも見えますが、同時に具体的な形象を持ち得る可能性を秘めた絵画です。近年は画面に数字という「要素」を見出し、研究対象としました。画面に無造作に描いた円球の個数を数えると、そこにはゼロから無限へとつづく数列の海から選ばれた、たったひとつの特定の数が存在するというこの意味を作家は考えます。

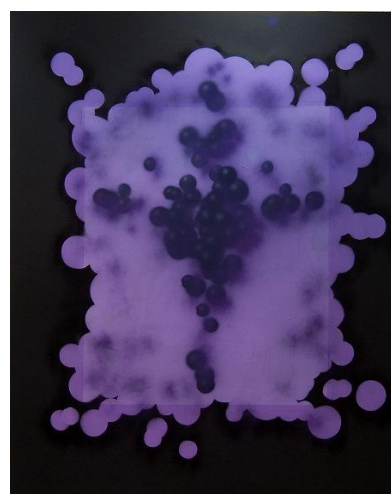


このたび eitoeiko で発表する作品は、数という無機的な概念とは真逆ともいえる、有機体、すなわち生命についての立体作品を発表します。数と生命というふたつのテーマは、じつは作家の興味の根源でもある「もののかたちのはじまり」ととらえるための、二大要素ではないでしょうか。そしてふたつの中心という発想は、日本画と現代美術という異なる分野をまたぐ作家の原点ともなっています。日本画と現代美術、平面と立体という概念を天体ととらえ、そのラグランジュポイントを考える展覧会。吉田有紀の新たな挑戦にご期待ください。

*L点…ラグランジュポイントとよばれる、天文学においてふたつの物体が円軌道を描く際、それぞれの重力と遠心力をつりあいながら第3の物体が2体との位置を保つことのできる地点。

吉田有紀略歴

- 1971年 神奈川県鎌倉生まれ
- 1995年 多摩美術大学絵画科日本画専攻卒業
- 1997年 多摩美術大学大学院美術研究科修了
- 1998年 第3回昭和シェル石油現代美術賞入選
- 2000年 第11回五島記念文化賞新人賞
- 2000-01年 ロンドン大学スレード美術学校に学ぶ
- 2006年 NO BORDER 日本画から日本画へ(東京都現代美術館)
- 2009年 META II(高崎市タワー美術館ほか)
- 2010年 META II(神奈川県民ホールギャラリー)
- 2010年 個展・回顧展(カスヤの森現代美術館)



eitoeiko

〒162-0805 東京都新宿区矢来町 32-2 電話・ファックス 03-6479-6923 ウェブサイト <http://eitoeiko.com>
電子メール ei@eitoeiko.com 開廊 12時から19時 月曜日、火曜日休廊